

おかやま地域カレッジ2020

おかやま地域カレッジは、社会福祉法人で取り組もうとしている“地域における公益的な取組”を具現化する「プラン」作成に取り組んでいきます。前身となる講座「無理しない地域づくりの学校」（平成27年度～令和元年度）のOB・OGや地域で活動する方をゲストにお招きしながら、新しいつながりや発想・生き方に刺激をもらい、プランを練り上げ、具体的な取組につなげていきます。岡山ささえ愛センターの委員もアドバイザーとして参画します。社会福祉法人が地域の一員として、自らの地域での困りごとを探り、その困りごとに対して、法人でできること+関係者のチカラを活かした取組を一緒に考えましょう。

相談できる仲間をつくりたい！

地域とどのようにつながりをつくっていけばよいのか、アドバイスをほしい！

社会福祉法人は「地域における公益的な取組」を責務として取り組まなければならないが、取り組むうえでの具体的な進め方等について、苦慮している…

人材や資源が限られた中で、どのように取り組んでいけばよいのか、アドバイスをほしい！

他の施設の取組を知りたい！

施設から地域へどう出て行けばよいのか…

このような思いをもっている皆様ご参加をお待ちしています



日程・会場

- 第1回 8月28日(金) 13:00～17:00 きらめきプラザ 3階介護実習室
- 第2回 10月9日(金) 13:00～17:00 きらめきプラザ 3階介護実習室
- 第3回 12月11日(金) 13:00～17:00 きらめきプラザ 7階705会議室

※令和3年2月頃にプラン発表会を予定しています。

※新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン会議等を活用する場合があります。施設・事業所等において、環境整備をお願いいたします。

対象

社会福祉法人の施設・事業所、岡山県地域公益活動推進センター会員施設、市町村社会福祉協議会の職員、その他関心のある方

定員

20名

※第2回、第3回は、聴講生（実際のプランづくりは行わず、発表の聴講やグループワークへのオブザーバー参加となります）も募集します。聴講をご希望の方は、お申し込み先までご連絡ください。

参加費

10,000円（全3回分） ※第1回参加時にお支払いください。

※聴講生は各回1,000円（資料代）を参加時にお支払いください。

主催

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

連携団体

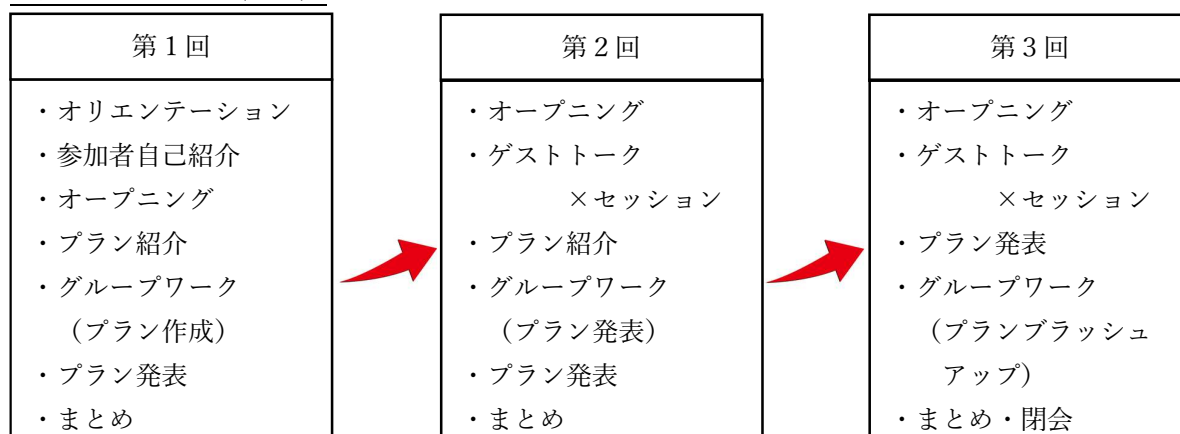
岡山ささえ愛センター（岡山県地域公益活動推進センター）

岡山県社会福祉法人経営者協議会（経営協）、岡山県社会福祉法人経営青年会

本研修のねらい・目標

- ◇社会福祉法人が地域の一員として、自らの地域での困りごとを探り、その困りごとに対して、法人でできること+関係者の力も借りることで、一緒に解決を目指す。
- ◇法人が提供するサービス利用者も地域の一員として、安心した生活が送れて、それぞれの幸せが感じられる地域社会を目指す。
- ◇社会福祉法人や組織内での自身の立場を振り返り、自分事、そして法人事として地域課題に向き合い、地域福祉の取組を進めることができる人材の育成と組織力の向上。
- ◇福祉分野以外の多様なネットワークづくり。
- ◇支援を必要とする方々に対する地域の関係者との協働による取組を、外部へ発信することにより、新たな人材の確保にもつながる。
- ◇参加者が中心となり、法人内で地域と連携・協働した取組の企画を練り上げ、次年度の法人における事業計画へ反映される。
- ◇参加者が講師や地域の様々な人たち、研修参加者等との交わりを通じて、成長が図られる。

研修のプログラム（予定）



OB・OGによるサポート（相談支援）もあります。

また、研修の各回の間にも、OB・OGの取組への参加（訪問）も予定しています。



「無理しない地域づくりの学校」とは・・・

無理しない地域づくりの学校では、全6回の講座を通して、参加者がやってみたいアイデアを具現化する「マイプラン」を作成しました。各回、多様なゲストをお招きしながら、発想や生き方に刺激をもらい、そのプランを練っていきました。これまでに、社協職員やケアマネジャー、施設の相談員、教員や大学生など、いろいろな立場の方が参加し、月1回地域で運営する食堂「岡輝みんな食堂」や、受講生が女将となり人やコトがつながる酒場「お勝手ふらふら」、福祉の枠にとどまらないユニークな企画を実施する社会福祉士のチーム「そ〜しかい」など、多様なプランが実践されています。

おかやま地域カレッジ2020では、「無理しない地域づくりの学校」のノウハウを活かしながら、「個人」の取組から「組織」の取組として展開し、実践プログラムの開発につなげていきます。



講師紹介

竹端 寛(たけばた ひろし) さん



兵庫県立大学環境人間学部准教授。現場（福祉、地域、学生）とのダイアログの中からオモロイ何かを模索しようとする、産婆術的触媒と社会学者の兼業。大阪大学人間科学部、同大学院人間科学研究科博士課程修了。博士（人間科学）。山梨学院大学法学部政治行政学教授を経て、2018年4月から現職。専門は福祉社会学、社会福祉学。

編著『自分たちで創る現場を変える地域包括ケアシステム：わがまちでも実現可能なレシピ』（ミネルヴァ書房）／著書『枠組み外しの旅－「個性化」が変える福祉社会』（青灯社）／著書『「当たり前」をひっくり返す』（現代書館）

尾野 寛明(おの ひろあき) さん



有限会社エコカレッジ 代表取締役（鳥根県川本町）、総務省 地域力創造アドバイザー、鳥根リハビリテーション学院 特任教員・地域連携コーディネーター（鳥根県奥出雲町）（ソーシャルビジネス論、マネジメント論）、デジタルハリウッド大学 非常勤講師（ソーシャルビジネス論）、鳥根県中山間地域研究センター 客員研究員、NPO 法人わがこと 副理事長（香川県高松市）など。

・2001年、19歳の時に東京都文京区でネット古書店を創業し、2006年に本社をまるごと鳥根県の過疎地に移転しました。過疎を逆手にとって、倉庫代は東京の100分の1。15万冊以上の蔵書があります。移転以来、東京と鳥根を毎週行き来する「二地域居住」を10年以上続けてきました。

・現場に身をおいているうち、少子高齢化を支える「担い手不足」が放っておけなくなり、肩書にこだわらない「普通の人」がまちに関われる仕組みづくりをしています。ライフワークとして、地域で何かを始めたいがどうしたらいいかわからない人のための「地域づくり超入門塾」を各地で開講中です。無理に創業を求めず、モヤモヤをまずは企画書に仕立てて人前で喋れるようにするプログラムを普及しています。2011年にスタートした鳥根県雲南市の「幸雲南塾」を皮切りに、全国20カ所以上に取り組みが広がっています。

・担い手は「育成」にこだわらず、「発掘」する努力を。週末の空き時間や子育ての空き時間で気軽に無理なく。小さな取り組みの輪が着実に生まれています。

・現在はほぼ毎日違う県にいる生活をしており、「風の人」などと呼ばれております。国の関係人口関連政策が導入されるきっかけとなったベストセラー「地域で働く“風の人”という新しい選択（藤代裕之・田中輝美編）」で影の主演(?)として登場しています。

お申し込み方法

参加申込書に、1) 氏名、2) 所属・役職、3) 住所、4) TEL、FAX、5) E-mail、5) プランイメージ（目安200字～400字）を記入して、FAXまたはメールでお申し込みください。

※参加申込締切 **令和2年8月11日(火)** ※参加決定者には、事前課題をお送りします。

お問い合わせ・お申し込み先

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

地域福祉部 経営支援班（担当：真壁・山下・矢尾）

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

TEL 086-226-3529 FAX 086-227-3566

E-mail keiei@fukushiokayama.or.jp



岡山県社協イメージキャラクター
「ももるんじゃー」

おかやま地域カレッジ2020 参加申込書

令和 年 月 日

おかやま地域カレッジ2020に申し込みます。

氏名	
所属・役職	
所属先住所	〒
TEL・FAX	TEL : FAX :
E-mail	
プランイメージ (200~400 字程度)	
その他、伝えておきたいこと等がございましたら、ご記入ください。	

参加申込締切 令和2年8月11日(火)